

## 平成28年度 第1回常任理事会議事録

日 時 平成28年4月16日（土）9時25分～11時25分  
場 所 道立体育センター小研修室  
出席者 渋谷研一、大江憲一、須田正毅、田中昌幸  
丸山道博、印藤智一、櫻庭功一、春間好実  
碓井喜晴

<進行：印藤常任理事>

### 1 開 会

※議事録署名人に渋谷理事長、印藤常任理事、春間常任理事の3名を決定する。

### 2 あいさつ（渋谷理事長）

先週、各委員会の会議が行われたが、それぞれの課題解決に向けてよろしくお願いしたい。

5年間継続している強化・育成基金活用事業は今年度が区切りの年であり、検証し、新年度以降の計画について提案してほしい。

熊本地震で被害が拡大している。東日本大震災に倣い支援について検討していきたい。

### 3 協議事項

#### （1）理事会及び評議員会の開催について

○理事会 5月21日（土）13時・北農健保会館

○評議員会 5月21日（土）15時・北農健保会館

※以上の日程で行うことを確認。

#### （2）理事会及び評議員会の議案等について

○理事会 ①平成27年度事業報告及び決算報告書類等の承認

②平成28年度特別会計予算（強化・育成基金）補正の決定

○評議員会 ①平成27年度事業報告及び決算報告書類等の承認

②平成28年度事業計画・予算の報告

※事業報告については、各委員会とも第3回理事会で報告した内容に以降を追加し報告する。なお、協会運営の基本方針に沿った各委員会の取組み結果は次のとおり。

#### ①総務委員会

・倫理規定では根絶を呼びかけたが、1件の処分案件が出た。

#### ②競技委員会

・総合大会運営マニュアル作成により柔軟な運営方式を普及させる。

・MRSによる大会申込みについては、今後の課題とする。

・若手競技委員の発掘が課題である。

・倫理規定については各種会議・大会、地区委員長にも呼びかけをしている。

#### ③審判講習会

・各加盟団体で講習会を実施し、道級212名、日C級67名が新規資格所得した。

・講習会等で暴言などの対応に触れ、チーム・審判員に倫理規定を徹底した。

#### ④強化委員会

- ・ JVAゴールドプラン事業に指導者を派遣するため予算を含め検討を要する。
- ・ 国体成年の強化としてふるさと制度の活用を検討しているがハードルは高い。
- ・ 倫理規定に関し指導者研修会は開けなかったが、今後とも徹底を図る。

#### ⑤指導普及委員会

- ・ 地区対抗選抜大会で男子チームが増え17チームで実施した。
- ・ 東京都駿台中男女チームを招聘し強化交換大会を実施し、今後の基礎を築いた。

※H27決算報告書については次のとおり。

- ・ 一般会計の収入はほぼ予算どおりで、参加料などは減少したが、繰越金もあり約84万円増の1744万円になった。
- ・ また、支出は旅費等が財政検討委員会を設けたことから増額となったものの、約98千円減の1650万円になり、このことで約94万円が平成28年度へ繰越となる。
- ・ 特別会計は、財政調整基金は1000万円、特別事業等基金はVプレミア大会の寄付金があり1510万円、強化・育成基金は支出が359万円あり1161万円が繰越となる。

### (3) その他

#### ①強化・育成基金予算の補正について

- ・ 3月12日開催の第4回理事会において北海道ビーチバレーボール連盟が加盟団体として承認され、これを受け補助金交付申請書が提出された。本会として組織の活動を支援するため10万円を交付することとし、強化・育成基金の補正予算を理事会へ提案する。

#### ②総合大会運営マニュアルについて

- ・ 総合大会の運営マニュアル（案）を作成したが柔軟な対応を含めさらに検討を進める。

#### ③その他

- ・ JVAから天皇杯・皇后杯ブロックラウンドにJOC代表チーム参加に関する通知があったが、北海道ブロックラウンドの開催時期は選抜チームを編成後間もないこと、また、男子については特にパワー面、技術面等々差がありすぎることから参加は見送る。なお、ブロックラウンドに中学生が参加しているのは北海道のみ。
- ・ 日体協からJVAを通じて国体への中3の参加導入に関するアンケートがきたが、道協会としては他競技団体が導入必要と判断すれば反対はしない。
- ・ 道ソフト連盟は平成28年度から道協会へ賦課金を納入することを決定（1チーム千円）したことが報告された。このことを受け第1回理事会に補正予算を提案する。

## 4 報告事項

### (1) 日協関係

- ・ 今年はVリーグ50周年で、昨シーズンは45万人の観客で、今シーズンは50万人目標。
- ・ 日本協会決算報告で、1.9億円の単年度収支赤字がほぼ解消される見込みだが、MRSで2億円程の特別損失処理がなされる見込み。

### (2) 各委員会

#### ①総務委員会

- ・ 第1回理事会資として「年度別収支決算額一覧」を提出する。

②競技委員会

- ・山口県協会から「美しいネットの張り方」の資料提供があり、全道競技委員長会議で配布した。
- ・テンションゲージ改良版がJVAから1台配付され、全国大会等は使用する。

③審判委員会

- ・4月10日に開催したブロック伝達講習会は講師に大塚春夫氏を招き、109名が参加した。

④強化委員会

- ・4月9日の委員会でふるさと制度の活用について議論したが難しいとの意見もあり、今後いくつかのハードルを克服するための検討が必要である。

⑤指導普及委員会

- ・5月3～5日の中学選抜優勝大会は中体連の伝達講習も兼ねて開催する。

⑥加盟団体

- 実 連～40周年記念誌を発行し道協会、加盟団体に送付した。
- 学 連～5月7～8日に総合大会を開催する。
- 高体連～上級審判員の資質向上を図る。また、高校新人大会参加ゼロ地区協会があり、これをチーム数の多い地区に配分することを検討する。
- 中体連～4月末にリベロの結論が出る。また、WTOは全ての大会で適用される。
- 小 連～全国審判講習会が4月16～17日で開催された。小連の指導者は倫理レベル2以上については必ず報告することになっている。全日本小学生大会の地区予選ではベンチスタッフの1名以上は全国指導者講習会の受講証明書又は日体協指導者資格の所持が条件となる。
- ビーチ～6月か8月に連盟設立記念大会を開催する。

(3) その他

- ・クラブチームのIDFは、5月に設立される「一般社団法人アイ・ディー・エフスポーツクラブ」(仮称)の中で、今年度から「ボレアス旭川」(仮称)として活動する予定であり、将来的にはV機構にVリーグに準加盟することを計画していることが報告された。


5 閉 会

【次回：5月21日(土) 10時30分・北農健保会館】

議事録署名人 理 事 長

渋谷 研一 

議事録署名人

伊藤 智一 

議事録署名人

春間 好実 